

2023年12月期 決算説明会

2024年2月15日
THK株式会社
代表取締役会長CEO
寺町彰博

本資料に含まれている事業計画、業績予想、経営戦略など将来の見通しに関する事項は、本資料制作時点において入手可能な情報に基づき、THK株式会社の経営者が判断したものです。したがって、環境の変化により、業績や戦略の進捗状況が異なることがあり得ることをご承知ください。また、当資料には決算開示事項以外の参考情報が含まれますこともご承知ください。

目次

I. 2023年12月期 決算概要

II. 主な取り組み

III. 2024年12月期 業績予想

I. 2023年12月期 決算概要

連結売上収益は前期比10.6%減少の3,519億円となった

- 各地域においてコロナ禍からの経済活動の正常化への流れが継続する一方、ウクライナや中東情勢などの地政学的リスクの高まり、インフレの進行、不動産不況などに揺れる中国経済の低迷など世界経済は先行き不透明な状況が続いた。
- そのような中、産業機器事業は全般的に需要が低位に推移する中、前半は高水準の受注残を売上収益へと繋げたが、後半に入っても需要は回復せず減収となった。一方、輸送機器事業は、コロナ禍の収束と部品供給不足の緩和などにより、自動車の生産と販売が回復の方向へと向かったことなどにより増収となった。

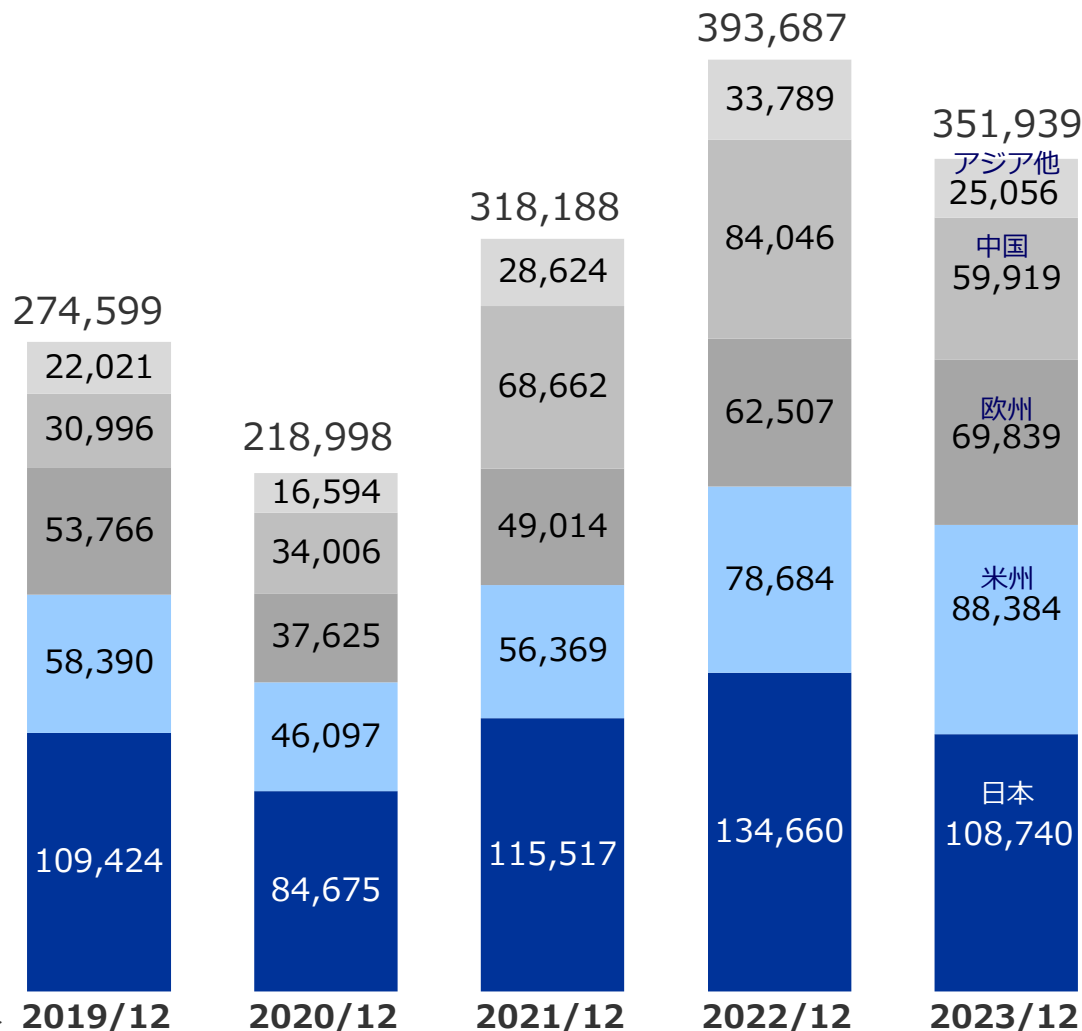
連結営業利益は前期比31.2%減少の237億円となった

- 産業機器事業は、主に売上収益の減少に伴う数量効果のマイナス影響により減益となった。
- 輸送機器事業は、売上収益の増加に伴う数量効果のプラス影響に加え、収益性改善に向けた各種取り組みなどにより、前期比で増益となるとともに黒字転換した。

2023年8月に修正した計画に対し、売上収益、営業利益ともに上回った

- 2023年8月に修正発表した計画に対して、コストコントロールを強化する中で為替が円安で推移したことなどにより、売上収益は69億円、営業利益は27億円、それぞれ上回った。

売上収益の推移

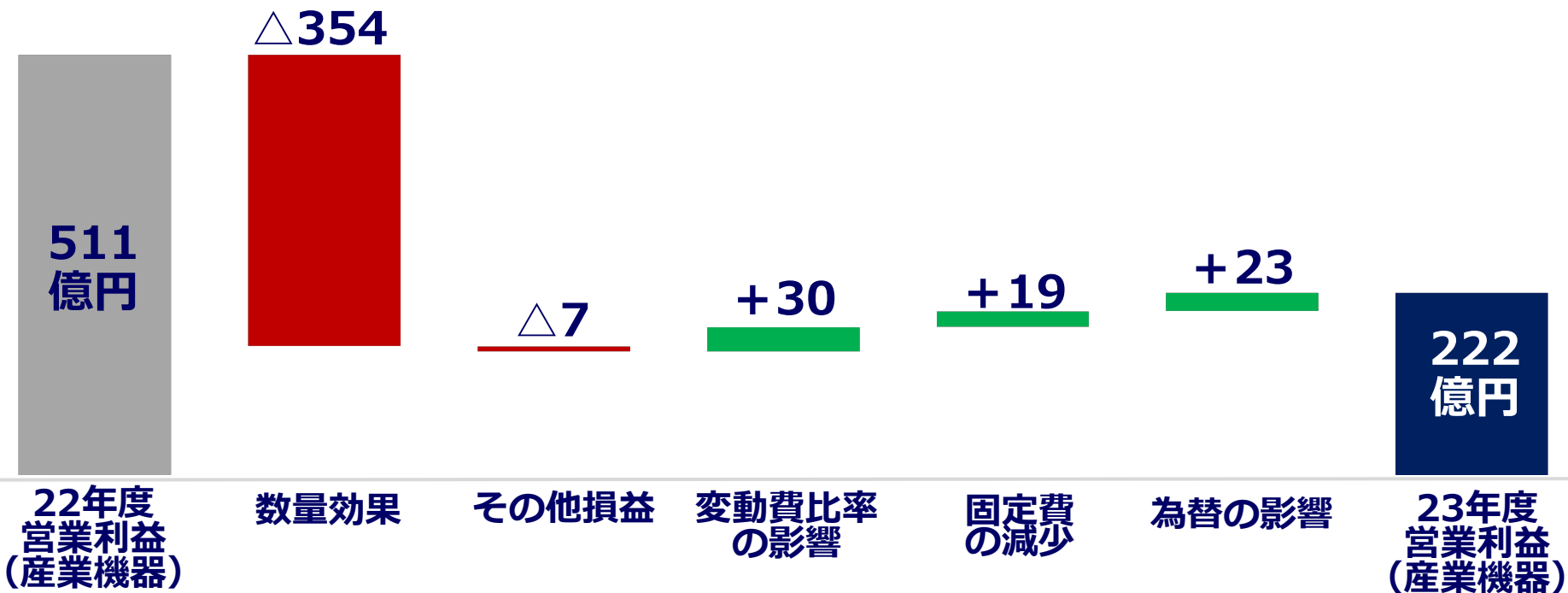


地域	業種	増減率
アジア他	●台湾	△46.3%
	●シンガポール	△38.8%
	●インド	△9.9%
中国	●工作機械	△33.2%
	●一般機械	△29.6%
	●エレクトロニクス	△41.1%
	●輸送用機器	△15.7%
欧州	●工作機械	△5.7%
	●一般機械	△16.5%
	●エレクトロニクス	△8.0%
	●輸送用機器	+5.6%
米州	●工作機械	△14.2%
	●一般機械	△2.9%
	●エレクトロニクス	△52.9%
	●輸送用機器	+18.0%
日本	●工作機械	△25.2%
	●一般機械	△39.1%
	●エレクトロニクス	△26.2%
	●輸送用機器	+24.9%

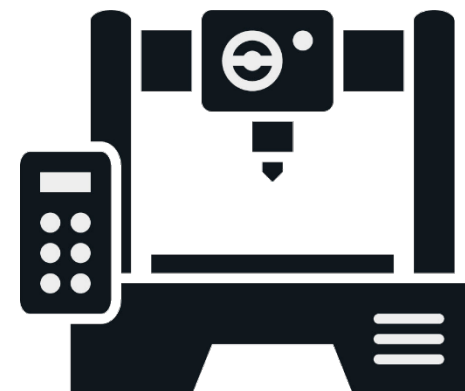
邦貨換算レート	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12
1US\$	109.04	106.79	109.79	131.43	140.52
1EUR	122.08	121.79	129.85	138.03	151.95
1CNY	15.79	15.47	17.02	19.50	19.83

※地域別売上高は所在地セグメントではなく海外売上高ベース
 ※業種別伸び率は1-12月の現地通貨ベース
 ※輸送用伸び率はTHKリズムとTRAの合計値比較

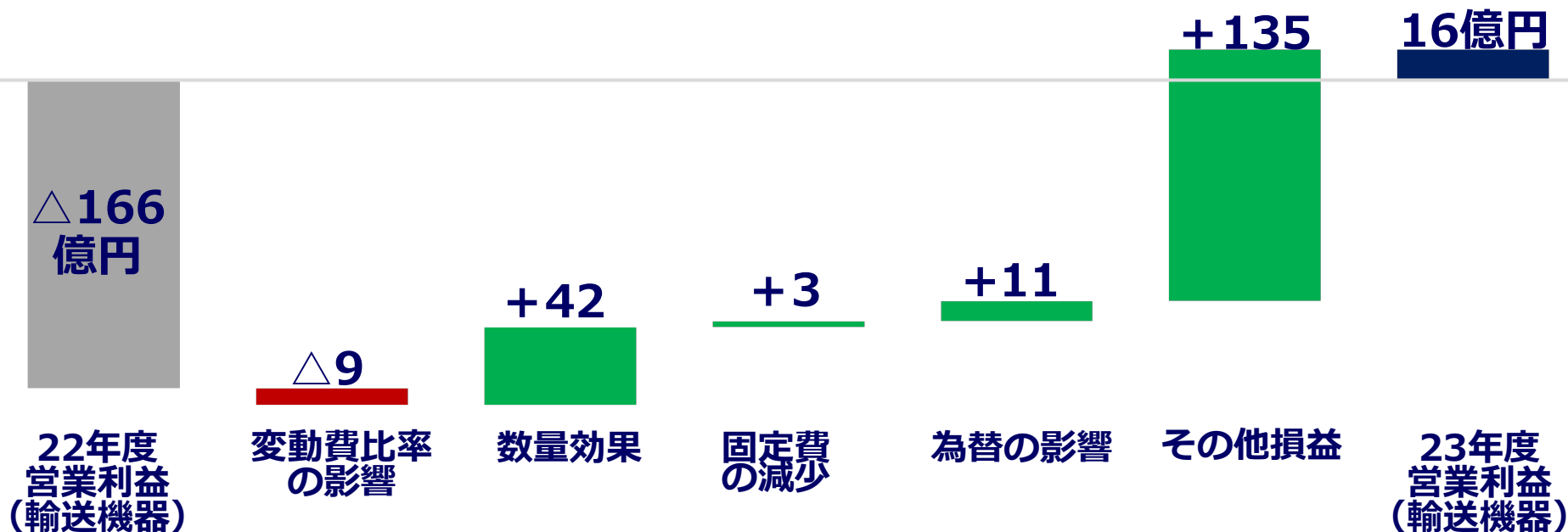
(参考) 営業利益 増減要因 (産業機器事業)



		FY22	FY23
単位：億円			
産業機器	売上収益	2,821	2,175
	営業利益	511	222

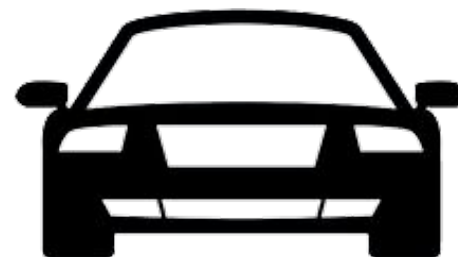


(参考) 営業利益 増減要因 (輸送機器事業)



		FY22	FY23
単位：億円			
輸送機器	売上収益	1,116	1,344
	営業利益	-166	16

※輸送機器事業はTHKリズムとTRAの合計値



資産・負債/資本の状況

総資産 556,351 百万円
前期比 $\Delta 3,952$ 百万円

現金及び預金 | 前期比 $\Delta 7,348$ 百万円

営業 C F 39,332百万円
投資 C F $\Delta 27,094$ 百万円
財務 C F $\Delta 24,266$ 百万円
換算差額 4,680百万円

営業債権及びその他の債権 | 前期比

$\Delta 18,043$ 百万円

売上債権回転月数 前期 3.0ヵ月
当期 2.7ヵ月

棚卸資産 | 前期比 +4,829百万円

棚卸資産回転月数 前期 2.4ヵ月
当期 2.8ヵ月

有形固定資産 | 前期比 +14,214百万円

設備投資 28,757百万円
減価償却費 18,898百万円

のれん及び無形資産 | 前期比

+171百万円

流動資産

333,462

前期比 $\Delta 19,480$

負債

193,453

前期比 $\Delta 29,570$

資本

362,898

前期比 +25,617

非流動資産

222,889

前期比 +15,527

流動負債 | 前期比 $\Delta 29,519$ 百万円

■ 営業債務及び
その他の債務 | 前期比 $\Delta 10,750$ 百万円
仕入債務回転月数 前期 1.3ヵ月
当期 1.2ヵ月

■ 社債及び借入金 | 前期比 $\Delta 9,837$ 百万円

■ 未払法人所得税 | 前期比 $\Delta 6,319$ 百万円

非流動負債 | 前期比 $\Delta 50$ 百万円

親会社の所有者に帰属する当期利益
18,398百万円

配当金の支払い 9,795百万円

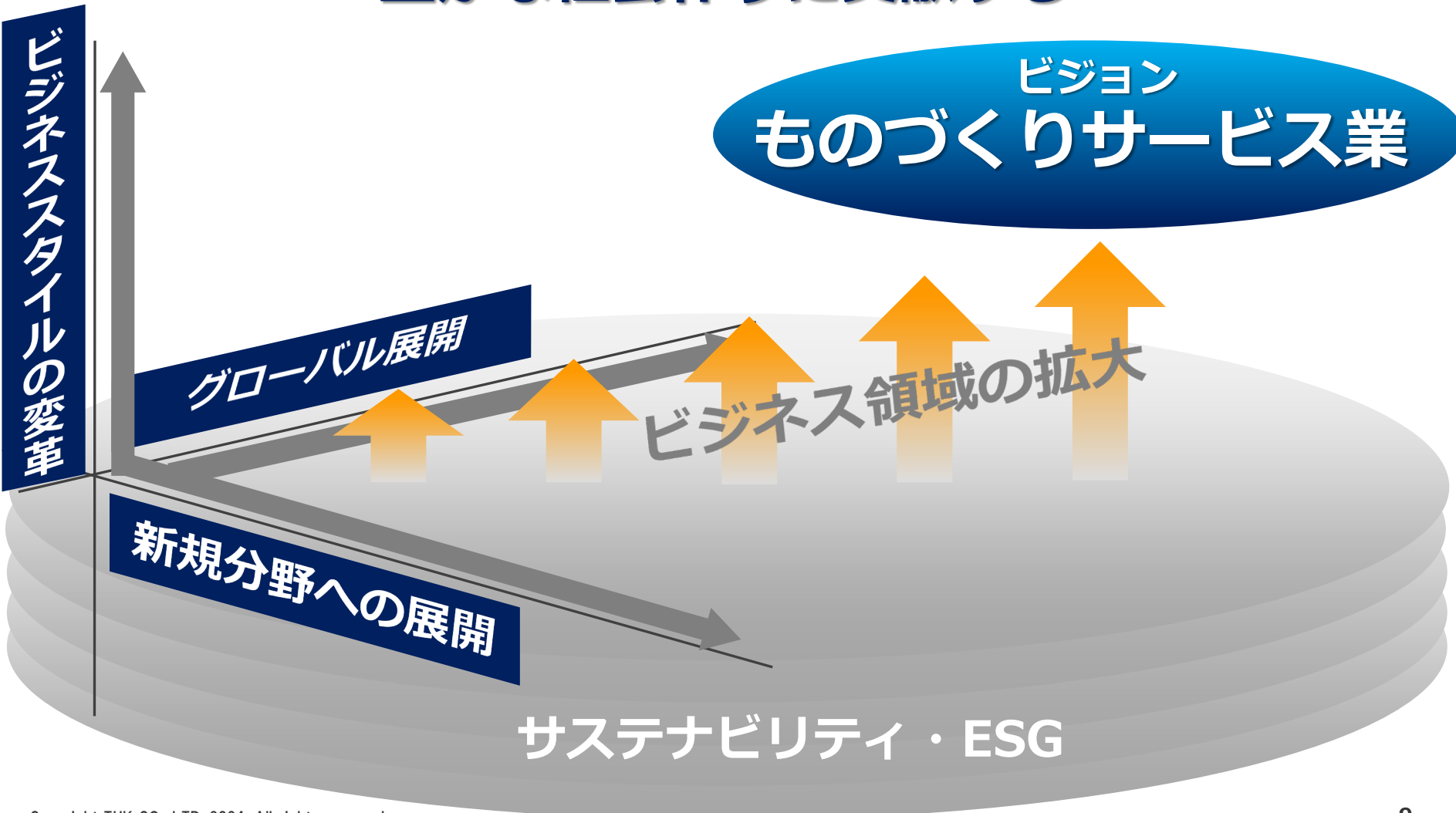
為替換算調整勘定 | 前期比
+17,590百万円

Ⅱ. 主な取り組み

THKの経営

経営理念

世にない新しいものを提案し世に新しい風を吹き込み
豊かな社会作りに貢献する



企業価値向上に向けて

PBR（株価純資産倍率） = **ROE（自己資本利益率）** × **PER（株価収益率）**

資本コストを意識した経営の推進による更なる改善

経営目標（2026年度）

連結売上収益：5,000億円 営業利益：1,000億円 ROE17% EPS590円

各事業におけるROICの向上

産業機器事業（トップライングロース）

売上収益：3,650億円 / 営業利益：920億円

市場平均成長率約7%を想定

シェア拡大・グローバル生産能力増強

DXの推進(Omni THK、OMNIedge)

新製品の開発・加速

輸送機器事業（収益性改善）

売上収益：1,350億円 / 営業利益：80億円

市場平均成長率約5%を想定

リカバリープラン継続・強化

利益重視運営

次世代自動車向け製品拡大

アルミ製品強化

各事業における取り組みの加速

ROICにおけるリターン（分子）を高めるべく、
積極的な投資に資金を充当し、適切な分配を実施

設備投資： 22年度～26年度（5か年）産業機器事業約1,500億円 / 輸送機器事業約200億円

研究開発： 新製品・サービスの開発と用途拡大

人的投資： インセンティブにつながる昇給 / 株式報酬制度の拡大を検討

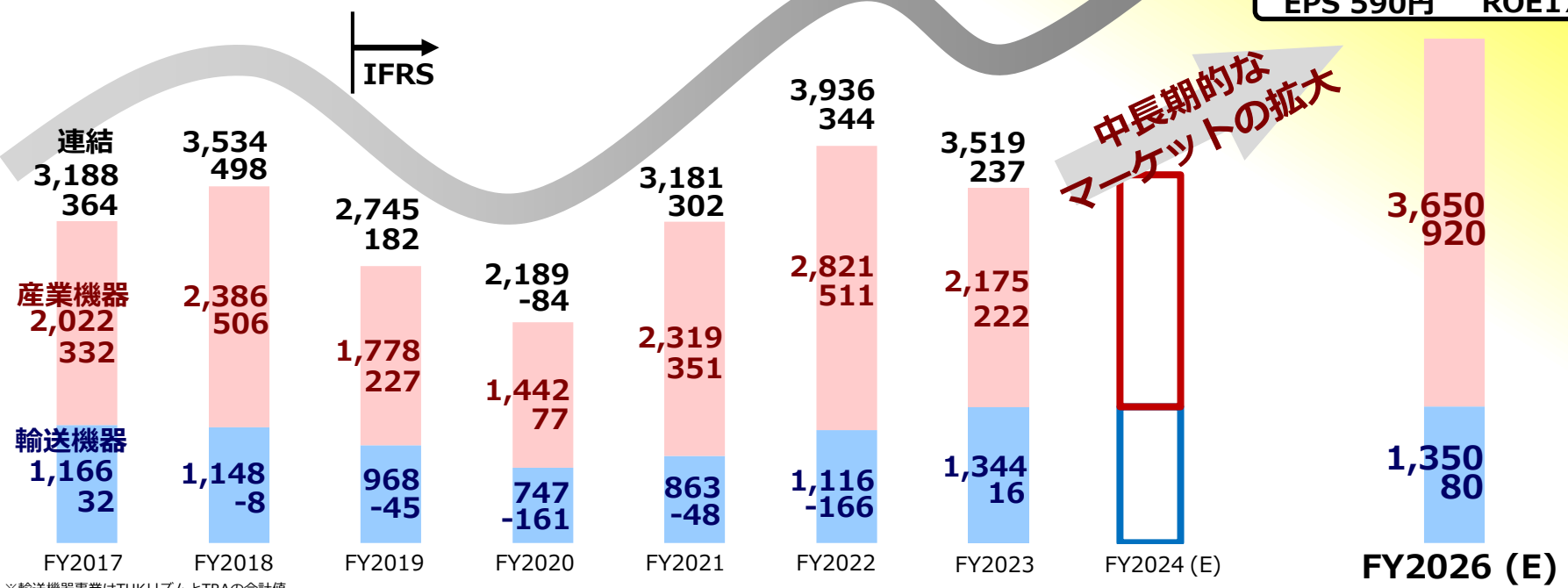
配当性向： 30%を当面継続 これらを前提とした余剰資金は自社株買いを検討

各事業における主な取り組み

中長期的なマーケットは拡大：2024年度は調整から回復へ


売上収益 (上段：億円)
営業利益 (下段：億円)

経営目標	
売上収益	5,000億円
営業利益	1,000億円
EPS	590円
ROE	17%




※輸送機器事業はTHKリズムとTRAの合計値

産業機器事業 + その他



シェア拡大・グローバル供給能力増強
DXの推進(Omni THK、OMNIedge)
新製品の開発・加速

輸送機器事業



次世代自動車向け製品拡大
アルミ製品強化
収益性改善

直動システムのコア技術により広がる用途拡大

既存分野

精密化が進む半導体製造装置向けなどに高精度製品を投入

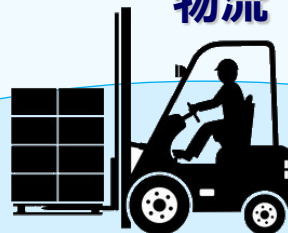
新規分野

人手不足・人件費高騰、及びIoTの進展を背景に拡大するサービス産業の省力化をお手伝い

レストラン



物流



ショップ



医療機器



鉄道車両・航空機



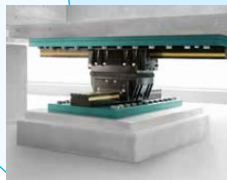
産業用ロボット



一般機械



免震・制震



再生可能エネルギー



工作機械



半導体製造装置



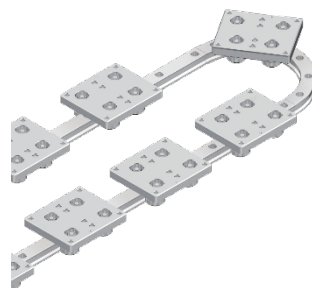
直動コア技術



最先端の自動化に貢献する 直動・回転要素部品における新製品/開発品

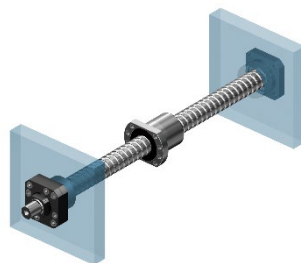
ホイールガイド CWG形

直線と曲線の組合わせにより
お客様の要求にマッチした搬送経路を構築可能



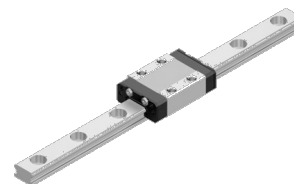
軸端末完成品精密ボールねじ SDA-VZ/BNK

省スペース設計用に標準化したねじ軸、
ボールねじナットを在庫することで
短納期対応が可能



半導体後工程分野ボンダー向け ミニチュアLMガイド AHR形

半導体チップの生産能力向上に貢献



世界標準寸法 超低ウェービング ボールリテーナ入りLMガイド

ナノメートルオーダーの運動精度に対応可能な
世界標準寸法のLMガイド



高速ローラーリングRT形

複合加工機の回転テーブルの回転速度を高速化し
タクトタイム短縮に貢献



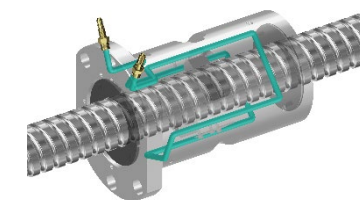
ユーティリティスライド AWG形

鉄道車両や物流（自動倉庫）に最適



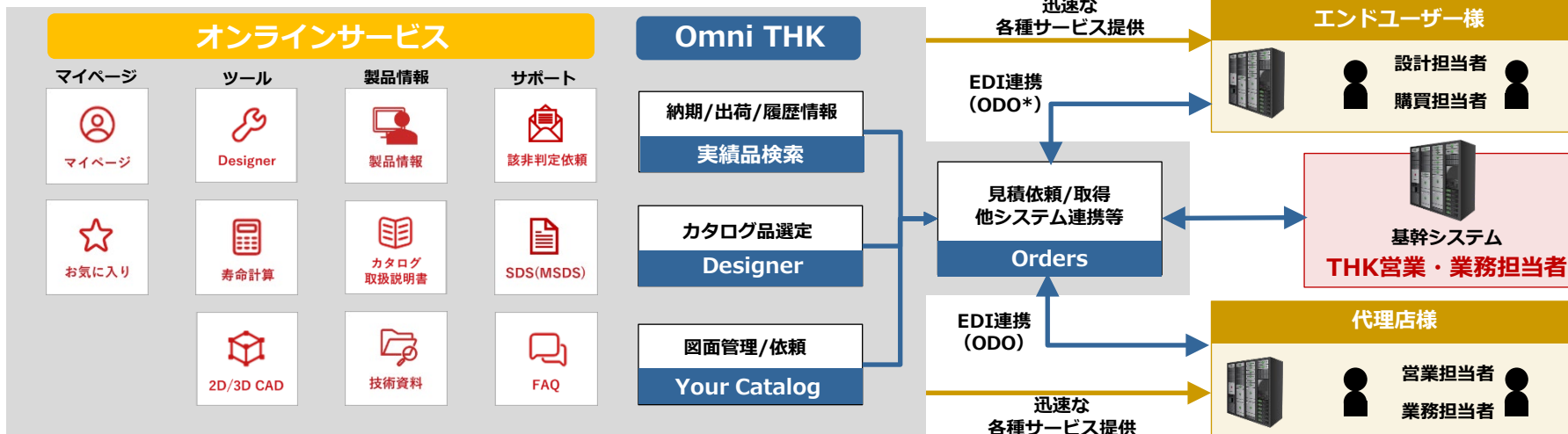
ナット冷却ボールねじ

ナットの温度上昇を抑え、高速稼働時の
ボールねじを最適な温度に調整でき、
位置決め精度や予圧トルクが安定



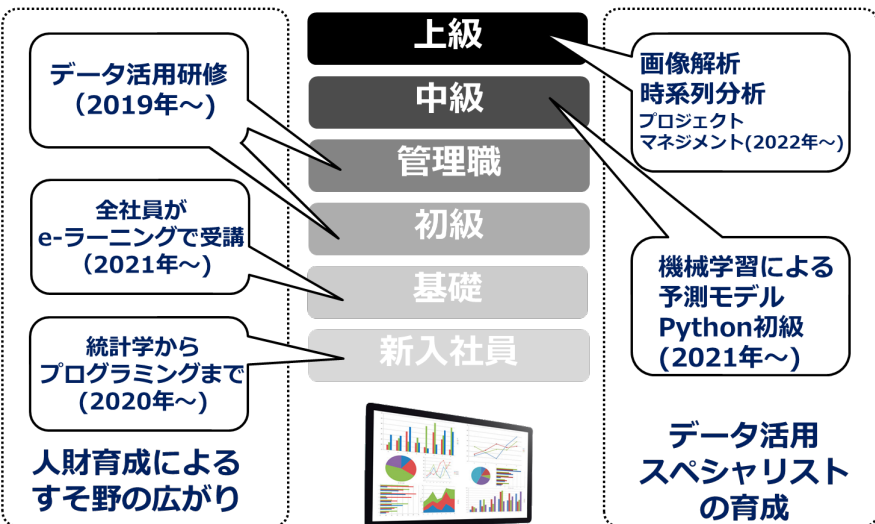
DX推進による生産性の向上

Omni THK (デジタル) を融合し、顧客満足度と生産性を向上



* ODO: Omni THK Direct Order System

デジタル人財育成



Smart Factory プロジェクト

多様なデジタルソリューションを展開中

Man	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業者支援システム「SmartFollow」 設備稼働状況とウェアラブル端末を連携。インシデントを即座に管理者、作業者へ通知 チョコ停、ドカ停の要因を分析、対策改善により、24時間365日正常状態・安定稼働を実現
Machine	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産設備稼働監視システム「E-Grouping SYSTEM」 生産設備、ロボットのリアルタイム稼働データを監視。ダッシュボード、KPI分析が可能 ■ 設備、機器保全管理システム「TenKenSystem」・「HelpLink」 スマートフォンにより設備機器点検、修理依頼データを登録、蓄積。異常警告を通知
Method	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラウド型IOT測定ソリューション「Smartmeasureシステム」 生産現場の測定作業、自動装置から抽出した検査デジタルデータを収集。蓄積。 データのリアルタイムモニタリング・異常監視・分析、利活用・トレーサビリティ管理を強化 ■ 作業分析/業務最適化ソフトウェアの展開 動画による動作分析、改善、デジタル標準化が可能。技術継承、後継者問題への対応 ■ デジタル生産ライン3Dシミュレータの活用 工場レイアウト、製品、ものの流れを半自動生成。工程ライン計画の事前予測が可能
Material	<ul style="list-style-type: none"> ■ THK基幹システム/製品ロット引当て管理の強化 紙ベースでの製品情報管理から基幹システムによるトレーサビリティ管理への移行 ■ RFIDソリューション「Hunter SYSTEM」 RFIDタグと製品情報をシステム連携、見える化。作業改善とものの流れの見直し

OMNIedgeによる設備総合効率(OEE)の最大化

スキル管理AIソリューション

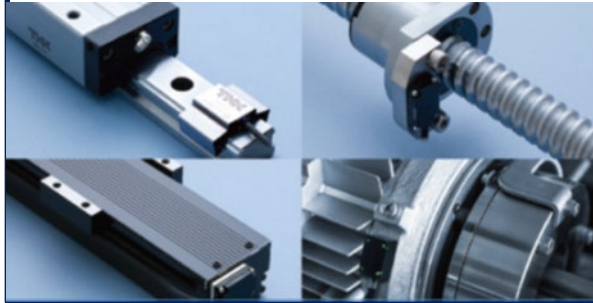
NEW



人の効率化

- ◎ 管理ロス
- 動作ロス
- 編成ロス
- 自動化置換ロス
- 測定調整ロス

部品予兆検知ソリューション (直動部品 / 回転部品)



設備の効率化

- ◎ 故障ロス
- 段取り/調整ロス
- ◎ 刃具交換ロス
- 立ち上がりロス
- チョコ停/空転ロス
- 速度低下ロス
- ◎ 不良/手直しロス
- シャットダウンロス

工具監視AIソリューション



設備総合効率 (OEE) の最大化に向け
各種ロス削減につながる新たなソリューションを開発・投入

OMNIEdgeにおける新ソリューション ～スキル管理AIソリューション～

人財スキルデータを一元管理・可視化し
スキルマネジメントを劇的に効率化

人財スキルの
一元化・可視化

計画的に
人財を育成

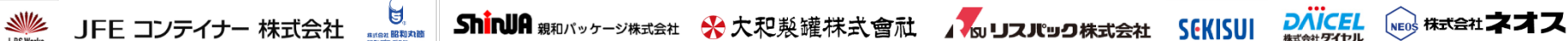
最適な
人財を配置



OMNIedge 導入実績 (導入企業様例)



幅広い業種のお客様への導入が着実に進行中



※導入企業様の一部のみ紹介
※順不同・敬称略

最先端の自動化に貢献する新製品群

搬送ロボット SIGNAS

～牽引重量1トンタイプを追加～

- ・独自の自律移動制御システムで簡単設定
- ・さまざまな用途、使用環境で活躍

NEW



積載

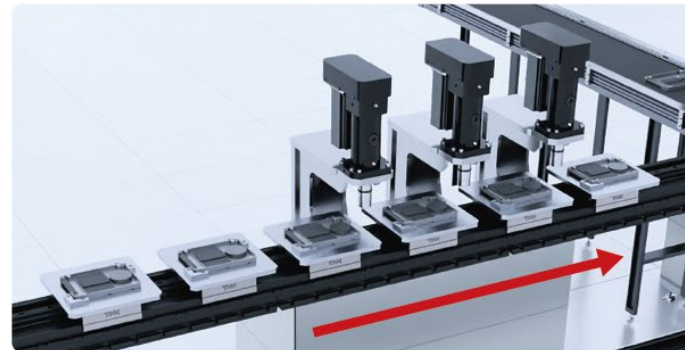
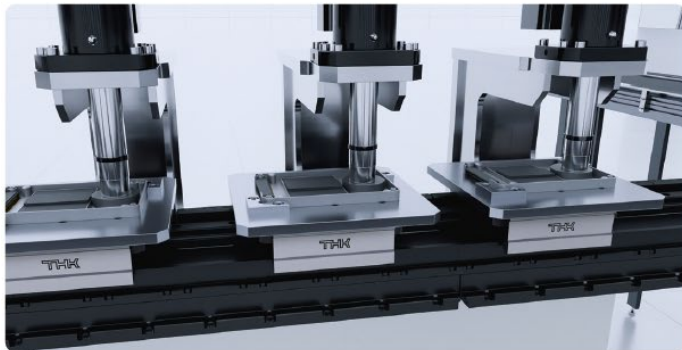


牽引

次世代リニア搬送システム

- ・製造ラインの生産性と柔軟性を高める「リニア搬送」
- ・ワークを運ぶスライダが高速に循環し搬送時間を大幅短縮
- ・多品種の生産に柔軟に対応可能

NEW



グローバル生産体制の拡充

各生産拠点にて自動化・ロボット化の推進による徹底的なコスト削減推進中

産業機器事業 23拠点

輸送機器事業 14拠点

合計 37拠点

欧州4拠点

アジア他15拠点

米州6拠点

日本12拠点

TRA GmbH(ドイツ)

TRA CZECH(チェコ)

TRA MICHIGAN(アメリカ)

TRA CANADA(カナダ)

TME(フランス)

TMI(アイルランド)

TMA(アメリカ)

TRNA(アメリカ)

TRMX(メキシコ)

THK中国・遼寧(中国)

三益 テクノポリス工場(韓国)

THK India(インド)

大連THK(中国)

THK無錫(中国)

THK常州精工(中国)

TMV(ベトナム)

山口工場

甲府工場

山形工場

岐阜工場

三益 本社工場(韓国)

三益 達成工場(韓国)

三益 平澤工場(韓国)

三益 城西工場(韓国)

三重工場

THK新潟

THKインテックス 三島工場

THKインテックス 仙台工場

THKリズム広州(中国)

THKリズム常州(中国)

TRTC(タイ)

TRMS(マレーシア)

日本スライド

THKリズム 浜松工場

THKリズム 引佐工場

THKリズム 九州工場

輸送機器事業の再編の進捗

2023年度 事業再編・黒字化

2024年度以降 利益成長の実現

リカバリープラン継続・強化
生産再編・組織再編

約 20億円コスト削減

利益重視運営（縮小厭わず）
不採算製品の返上/生産拠点の縮小・閉鎖検討

- ・ 不採算製品返上による効果0.6億円
- ・ 更なる価格転嫁交渉を継続中

産業機器製品の生産
THKリズムでの生産

生産金額約21億円

※輸送機器事業の実績・計画に含まれる

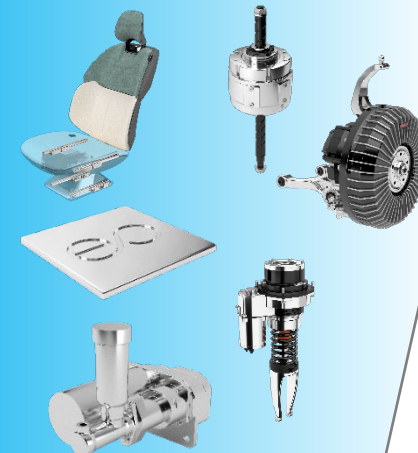
【既存製品】
収益性改善
アルミ製品強化

【産業機器製品】
24年度 生産金額約33億円
他工場への横展開を検討

【次世代新製品】
受注拡大・開発加速

新製品

新技術（2023年発表）



次世代製品へ発展

開発を加速・新規受注拡大

既存製品

次世代
新製品

EVプロトタイプ「LSR-05」を自社開発 ～ Japan Mobility Show 2023にて発表 ～



ステルスシートスライドシステム: **SLES**
Stealth Seat-slide System



アクティブサスペンション: **ALCS**
Active Level Control Suspension



MR流体減衰力可変ダンパー: **MRDT**
MR fluid Active Damper Tube



可変磁束型インホイールモーター: **enemo**
Variable Magnetic flux In-wheel motor



電動ブレーキ: **ESB**
Electric Service Brake



非接触給電システム: **CLPS**
Contactless Power Supply

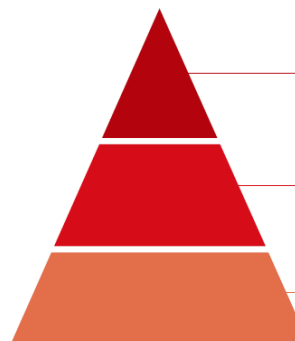


自動車業界における“CASE”が進展する中、
これからの自動車技術の在り方についてTHKの考え方を具現化

サステナビリティ経営について

サステナビリティ基本方針

THKグループは、創業の精神である「経営理念」を脈々と受け継ぎ、「基本方針」を誠実に体現した事業活動を展開し、「行動憲章」に基づく自主的な行動を実践することで、本業を通じた企業価値の向上と持続可能で豊かな社会作りへの貢献の両立を目指します。



経営理念

世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する

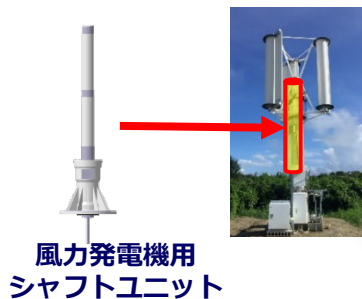
基本方針

1. 価値創造と社会貢献
2. 顧客志向
3. 法令等の遵守

行動憲章

経済社会の発展を担いつつ社会にとって有用な存在となり、持続可能な社会の創造に向けて高い倫理観をもって社会的責任を果たすための行動指針。日常業務の遂行にあたり基準となるコンプライアンス、環境対応、人権尊重等を含む10原則。

再生可能エネルギー向け製品拡大



直動製品拡大 (省エネ化に貢献)

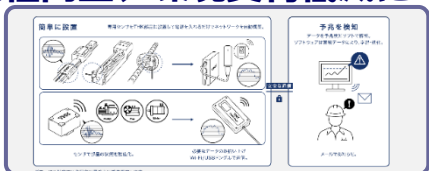


自動車のEV化に伴う 小型軽量化に貢献する 製品の拡大

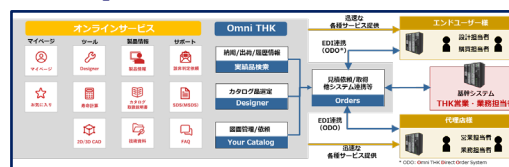


ものづくりサービス業

OMNIedge (生産性向上、環境負荷低減に寄与)



Omni THK (生産性向上に貢献)



ものづくりサービス業としてサステナビリティに貢献

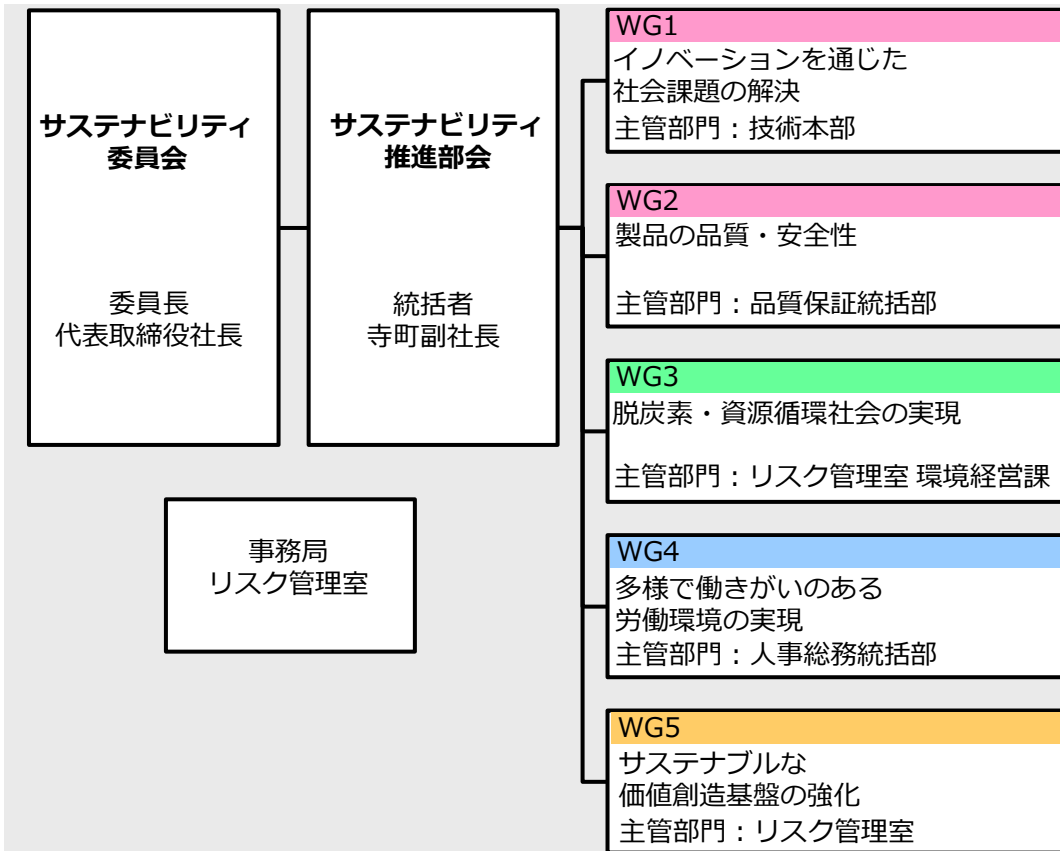
サステナビリティ推進体制と直近の活動

- マテリアリティの具体的な取り組みに向け
テーマごとに5つのワーキンググループ（WG）を設置し議論を展開
- マテリアリティに対応した「指標と目標」を3月に開示予定
- TCFD提言への対応の進捗状況や人的資本に関する情報を3月に開示予定

マテリアリティのテーマと項目

テーマ	項目
豊かな社会づくりとイノベーションを通じた社会課題の解決	イノベーションを通じた社会課題の解決
	製品の品質・安全性
脱炭素・資源循環社会の実現	気候変動
	持続可能な調達
	資源循環
	有害物質管理
多様で働きがいのある労働環境の実現	人権の尊重
	ダイバーシティの推進
	労働安全衛生
	人財育成
サステナブルな価値創造基盤の強化	コーポレートガバナンス
	コンプライアンス
	リスクマネジメント

体制図



カーボンニュートラルへの取り組み

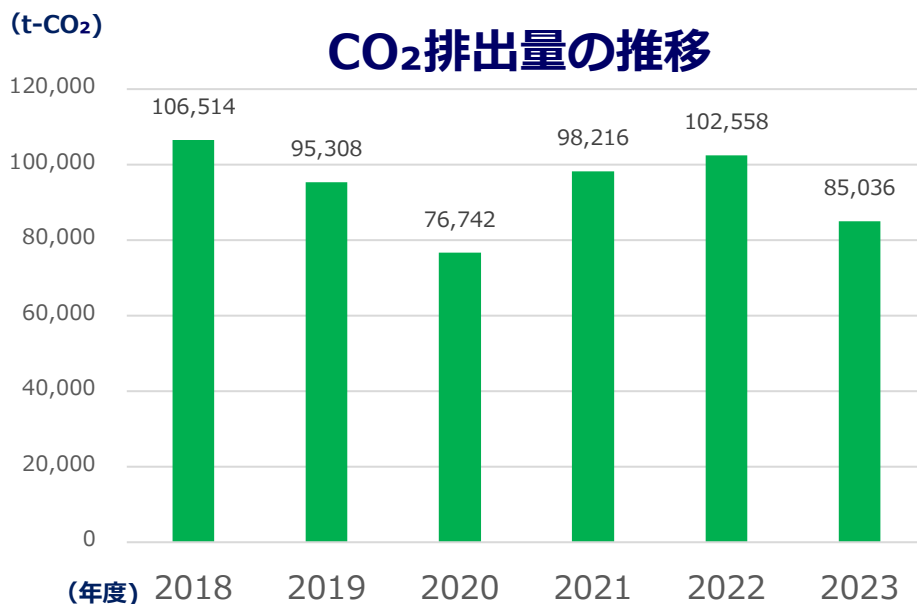
カーボンニュートラルの中長期目標

【中期目標】 2030年CO₂排出量 基準年2018年 50%削減

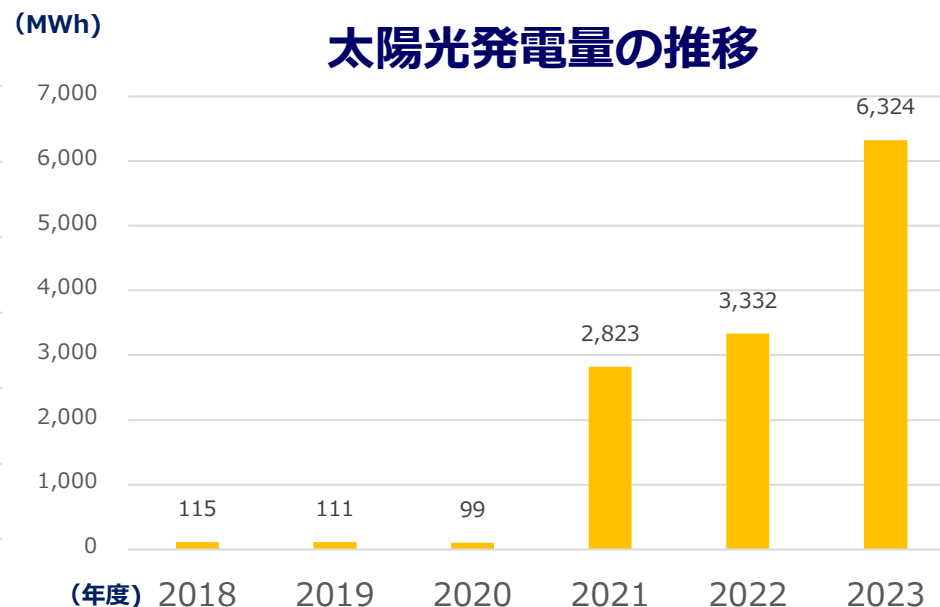
対象範囲：日本国内THK、日本国内グループ会社 2018年実績値：106,514 t-CO₂

【長期目標】 2050年CO₂排出量：実質ゼロ

対象範囲：THKグループ全体



※対象拠点：日本国内THK、日本国内グループ会社



※データ取得は豊田支店、山口工場、山形工場、THKインテックス三島工場、THKリズム浜松工場、THKリズム九州工場、THK新潟の7拠点

省エネ、省力化に貢献できる製品開発、LED照明への切り替え、太陽光発電のさらなる導入、非化石エネルギーへの転換等、より環境に配慮した事業活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献

カーボンニュートラルへの取り組み（海外）

太陽光パネル（THK常州精工）



太陽光パネル（THK遼寧）



太陽光パネル（THKリズム タイ）



電気自動車の運用
（THK常州精工）



電動フォークリフト
（THK常州精工）



ミストコレクターに
インバーター機能追加
（THK無錫）



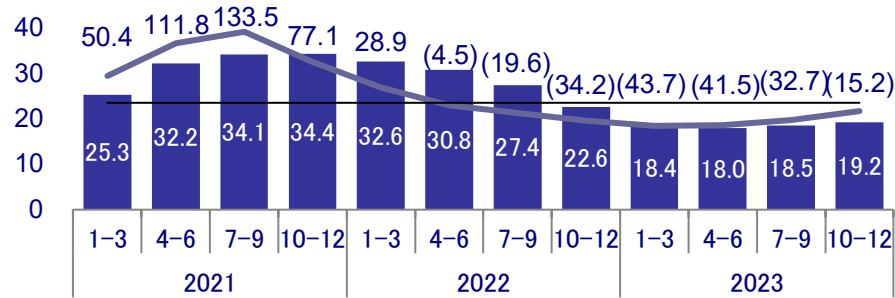
コンプレッサー排熱の
有効利用
（TRAチエコ）



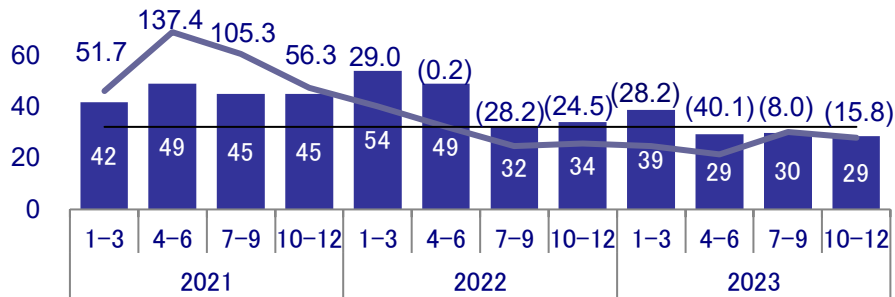
Ⅲ. 2024年12月期 業績予想

地域別受注状況 (産業機器事業)

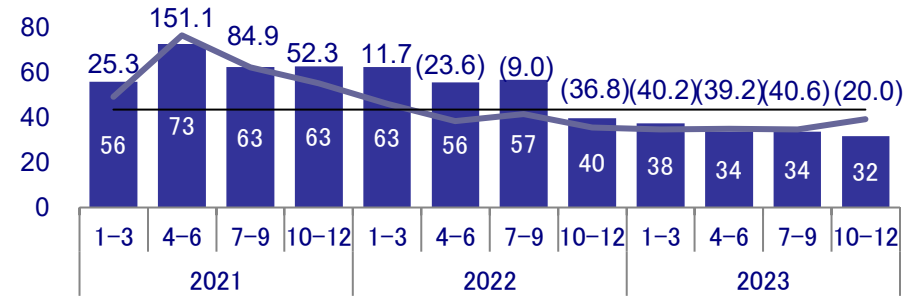
THK日本 *輸出を除く 前年同期比、10億円



THK Europe 前年同期比、100万ユーロ

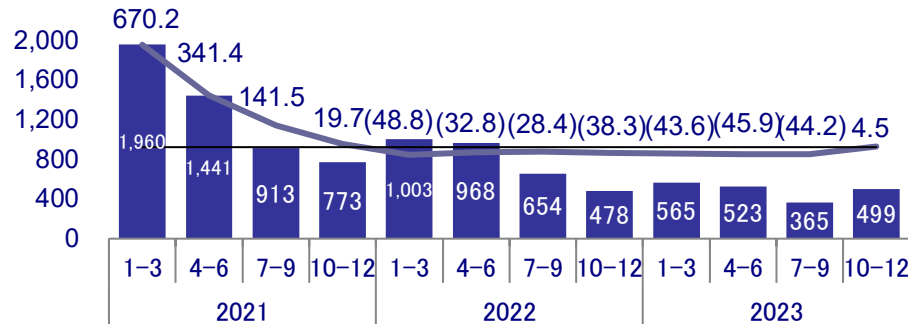


THK America, Inc. 前年同期比、100万ドル

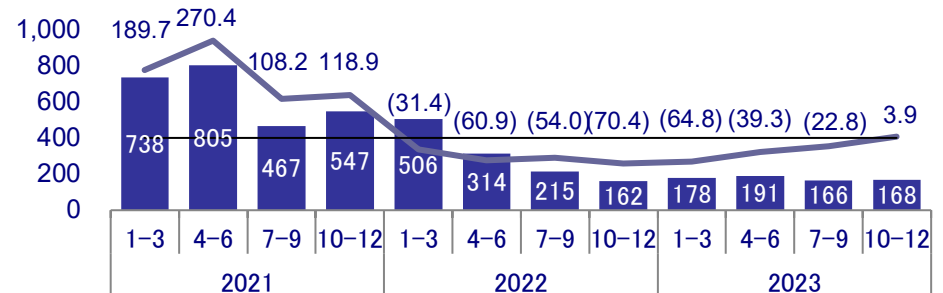


THK (CHINA) CO., LTD. + THK (SHANGHAI)

前年同期比、100万元



THK TAIWAN 前年同期比、100万台湾ドル



利益計画（連結）

	2024/12 計画	2023/12 実績	2022/12 実績
売上収益	365,000	351,939	393,687
前期比	+3.7%	△10.6%	+23.7%
営業利益	27,000	23,707	34,460
前期比	+13.9%	△31.2%	+13.8%
税引前利益	28,800	25,289	35,596
前期比	+13.9%	△29.0%	+18.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	20,800	18,398	21,198
前期比	+13.1%	△13.2%	△7.9%

利益計画（単独）



(百万円)

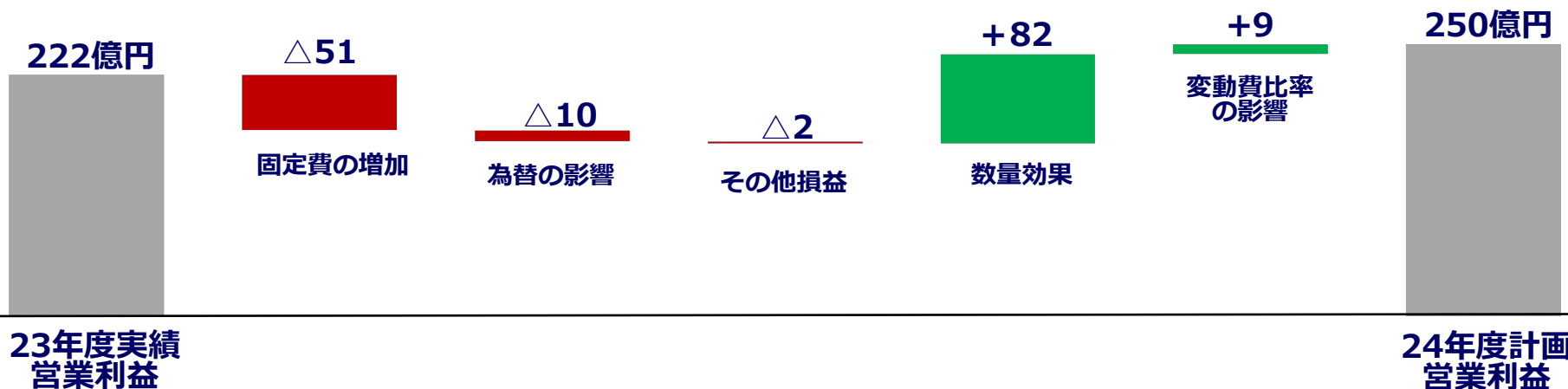
	2024/12 計画 (日本基準)	2023/12 実績 (日本基準)	2022/12 実績 (日本基準)
売上高	151,000	144,227	197,624
前期比	+4.7%	△27.0%	+17.9%
うち日本	98,000	89,121	117,572
前期比	+10.0%	△24.2%	+18.0%
営業利益	7,000	7,138	25,722
前期比	△1.9%	△72.2%	+53.9%
経常利益	11,000	15,905	35,105
前期比	△30.8%	△54.7%	+60.2%
当期純利益	8,800	13,037	6,094
前期比	△32.5%	+113.9%	△66.8%

2024年度計画増減益要因（参考）

産業機器

2023年度実績 売上収益：2,175億円
営業利益：222億円

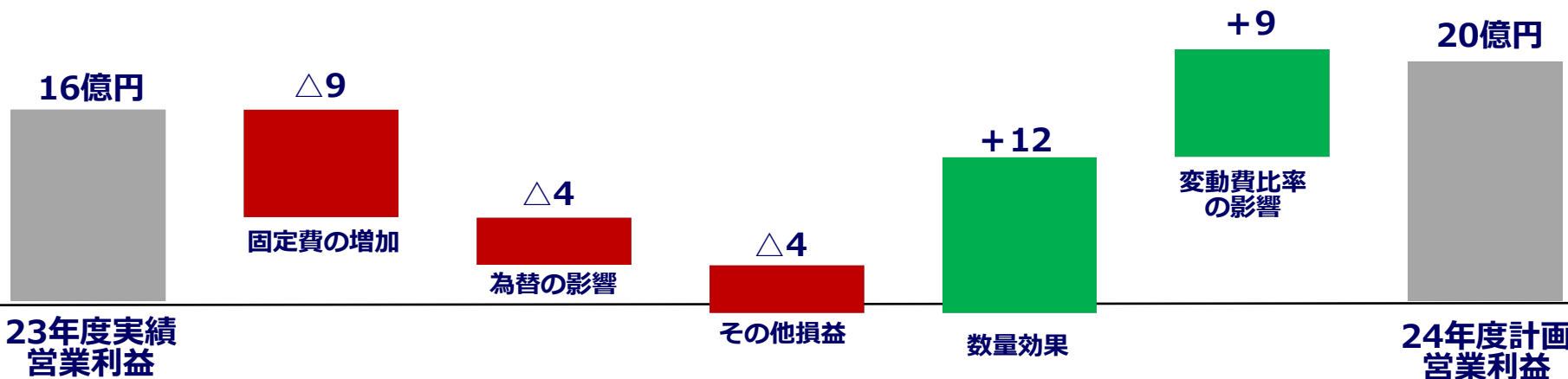
2024年度計画 売上収益：2,300億円
営業利益：250億円



輸送機器

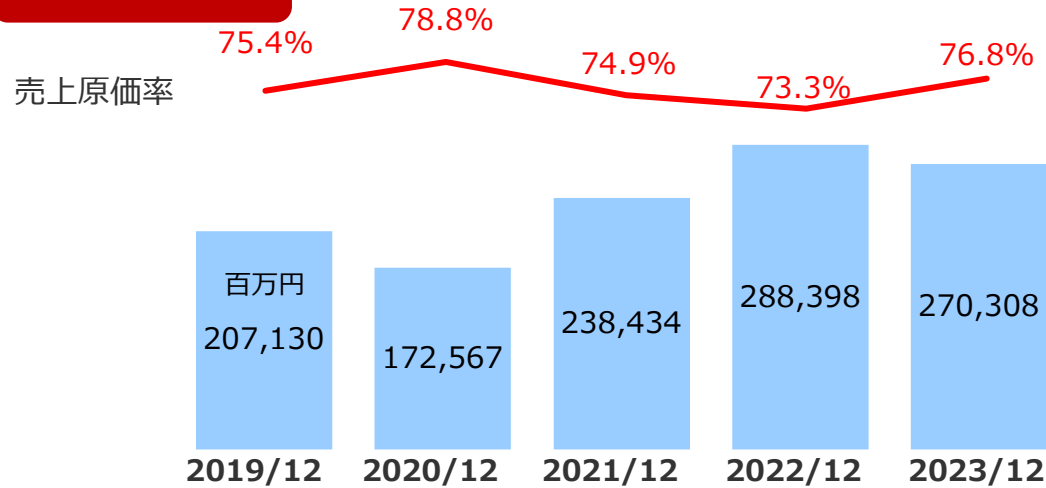
2023年度実績 売上収益：1,344億円
営業利益：16億円

2024年度計画 売上収益：1,350億円
営業利益：20億円



売上原価および販管費の推移

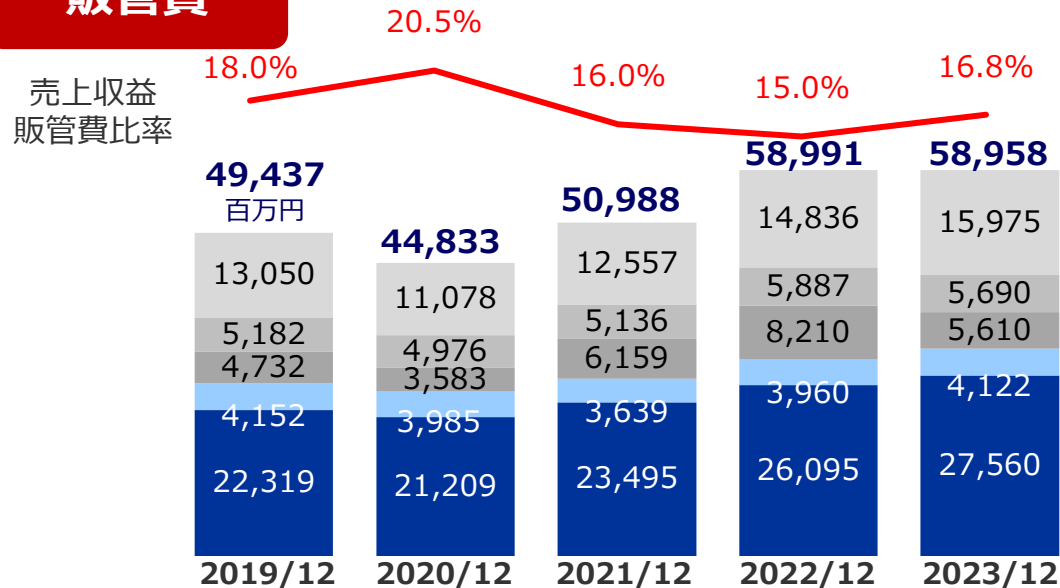
売上原価



原価率は前期比3.5ポイント上昇

・売上収益の減少

販管費



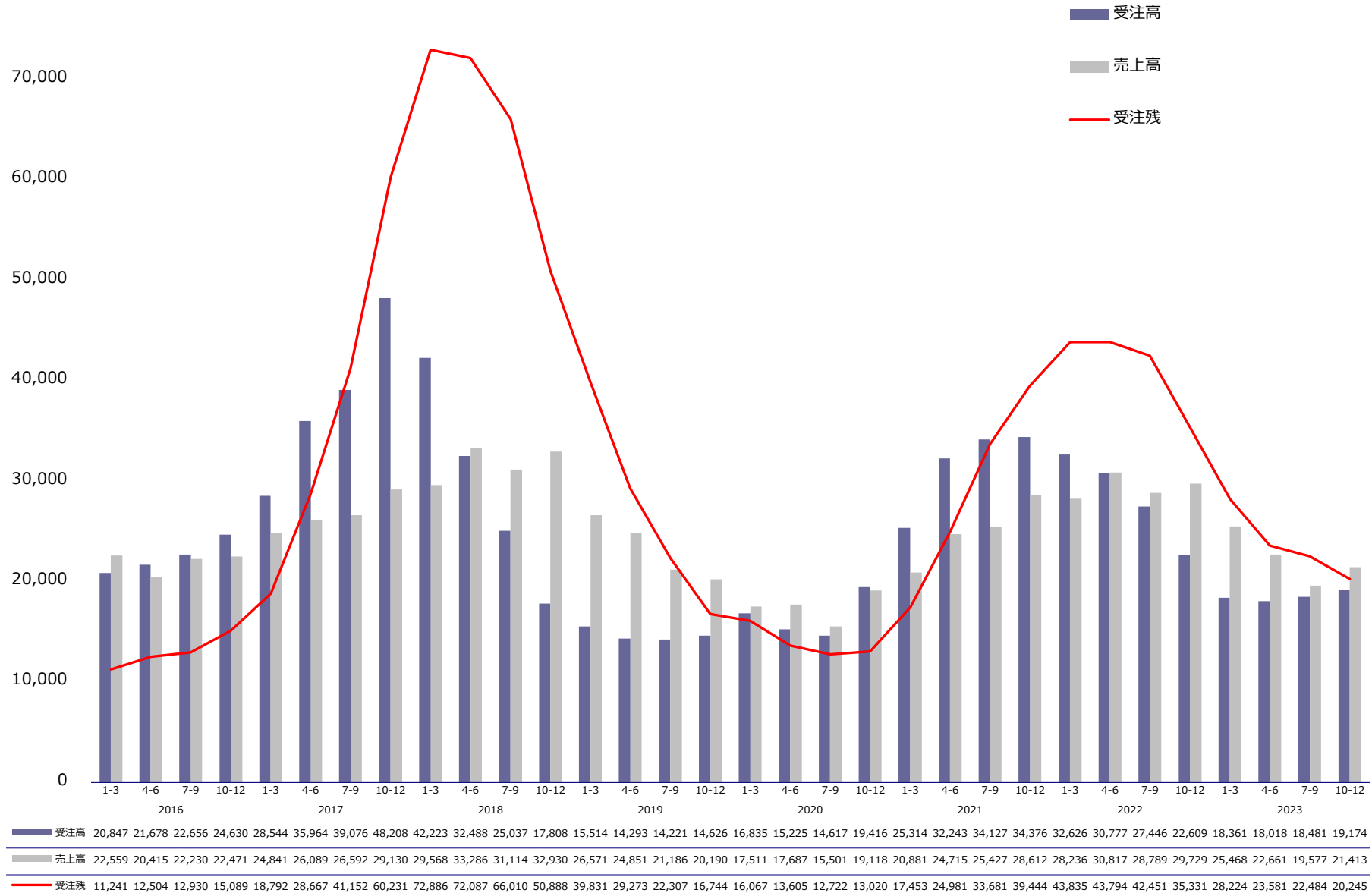
販管費比率は前期比1.8ポイント上昇

・売上収益の減少

【補足資料】受注高・売上高・受注残高の推移（単独：日本）



(100万円)
80,000



【補足資料】業種別受注高の推移（単独）

(100万円)

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

— 工作機械
— 一般機械
— エレクトロニクス

	2016				2017				2018				2019				2020				2021				2022				2023			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
工作機械	2,715	2,800	2,575	2,630	3,353	5,879	6,213	8,076	5,976	5,534	4,139	2,489	1,737	1,355	1,324	1,138	1,260	1,350	1,301	2,217	3,123	4,659	4,373	4,515	4,539	3,933	4,033	3,125	2,336	2,085	1,977	1,969
一般機械	3,682	3,671	3,662	4,083	4,846	6,798	6,730	8,573	7,193	6,021	5,130	3,391	2,485	2,287	2,431	2,482	3,024	2,659	2,891	3,706	5,249	6,175	6,915	6,587	6,210	5,458	4,812	3,313	2,783	2,547	2,489	2,675
エレクトロニクス	3,485	4,649	4,697	5,867	6,816	6,780	8,142	10,442	8,967	5,425	4,575	2,618	2,793	2,717	2,542	2,950	4,601	4,067	3,369	4,472	5,337	7,230	8,739	8,956	7,773	7,762	7,198	5,553	4,290	4,597	4,497	5,388